

1. 邇摩分教室の概要

県立邇摩高等学校の中に設置された高等部の分教室です。
設置学級は1学年1学級8名（単一障がい）です。

○自宅からの通学が基本です

JRの仁万駅から徒歩10分程度です。バス停は邇摩高校前にあります。
寄宿舎はありません。また、近隣に児童福祉施設等もありません。
※下校時及び下校後、大田市内福祉事業所の放課後等ディサービス事業を利用するケースがあります。

○邇摩高等学校生徒との交流

教室は邇摩高校生教室と隣接(1F, 2F)し、昇降口も共有します。
邇摩高校の行事は可能な範囲で参加します。
その他、交流及び共同学習を行います。

○校外学習等

校外学習や職場見学等の、学校外での学習は公共交通機関を利用したり、
スクールバス等を利用したりして行います。

○給食があります

業者から提供してもらいます。

【その他】

本校は出雲市神西沖町にあります

小学部・中学部・高等部があり、寄宿舎もあります。

大田には分教室があります

大田市立第二中学校敷地内に分教室があり、小学部・中学部の子どもたちが
学習しています。

「児童心理療育センター みらい」に隣接し、みらい分教室があります

分教室は本校に隣接しており、小学部と中学部があります。

雲南にも分教室があります

雲南市三刀屋町にあります。高等部の分教室です。
設置学級は1学年1学級8名です。



2. 令和4年度 学校経営プラン

〈校訓〉 あかるい子 なかのよい子 たくましい子

〈めざす生徒像〉

地域で 生きる人になる

〈高等部求める生徒像〉

自分の可能性を 切り開くことに 意欲がもてる生徒

〈重点テーマ〉

「カラフル」～個性を生かして地域とつながろう

- ・生徒の好きなことや良さを生かした教育活動
- ・個性を生かした取組と地域を結びつけた教育活動



〈邇摩分教室目標〉

- ① 地域や身近な人との関わりの中で生徒が自分の良さ(個性)に気づき、その良さを発揮することができる力の育成。
- ② 学んだことを実際の場面で自ら進んで活用できる力の育成。
- ③ 自分の将来を見つめ、目標に向かって自己を高めていく態度の育成

3. 生徒数

学年	1年	2年	3年	計
男	1	2	2	5
女	1	1	1	3
計	2	3	3	8

4. 邇摩分教室の生活時程及び週時程

【生活時程】

生活時程	
登校	8:25
朝礼・清掃	8:25 ~ 8:50
1校時	8:50 ~ 9:40
2校時	9:50 ~ 10:40
3校時	10:50 ~ 11:40
4校時	11:50 ~ 12:40
昼食・休憩	12:40 ~ 13:35
5校時	13:40 ~ 14:30
6校時	14:40 ~ 15:30
終礼	15:30 ~ 15:40
下校	15:40 (水曜日) / 16:40 (部活動日)

※通学時利用 公共交通機関<大田方面>

	登校	下校
JR	仁万駅着 7:59	仁万駅発 16:20
		仁万駅発 17:22
バス	邇摩高校前着 8:25	邇摩高校前発 16:17

通学時利用 公共交通機関<江津方面>

	登校	下校
JR	仁万駅着 7:45	仁万駅発 16:01
		仁万駅発 16:40
		仁万駅発 17:11

【週時程】

	月	火	水	木	金
	朝礼・清掃				
1	自立	自立	自立	作業学習	作業学習
2	国語 数学	音楽	国語 数学		
3	総合的な 探求の時間	生活単元 学習	生活単元 学習		
4					
	給食・休憩				
5	進路 (総合的な 探求の時間)	美術	音楽	国語 数学	作業学習
6	体育		体育	生活単元 学習	
	終礼				

5. 邇摩分教室の学習内容

教科学習～国語・数学・音楽・美術・保健体育・など

基礎学力、基礎体力、表現力等を養い、いろいろな文化に触れ、青年期にふさわしい知識や技能を養う学習です。個々の課題に応じて、指導内容、方法を工夫して取り組みます。

国語・数学～学習課題別にグループに分かれて生活に役立つ内容を中心に学習します。

音楽・保健体育・美術～全学年合同で学習します。

作業学習（調理・農業・手芸）

～将来、社会で働くために必要な力をつける学習

集中力・持続力など働く基礎となる力を養ったり、手指の操作、道具の扱い方の経験を広げたりします。

- ・手芸班：外部講師の指導を受けながら基本的な技術も学んでいます。
調理班とのコラボ商品、バッグ、マクラメなどの製品作り。
- ・農業班：邇摩高校の農地を借りています。
野菜や花の栽培、間伐材を利用した薪作り。
- ・調理班：身だしなみや衛生面に配慮して製造しています。開設当初からの人気商品。
パウンドケーキ、クッキーなど製品作り。



生活単元学習

～身近な社会や自然についての内容、生活に結びついた家庭科的な内容、校外学習、学部・学校行事に関する学習

実際の生活に活かせる、生きた力を身につける学習として様々な単元を設定して取り組みます。ICTを活用した学習を行っています。

総合的な探究の時間・

～社会生活における役割や生徒自ら進路選択できる力、生きがいを見つけ関わる力をつけるための学習

邇摩高校との交流及び共同学習、進路に関する学習、ALTによる英語活動、ボランティア活動などを中心に行います。

自立活動

～障がいからくる生活の中で困っている状態を主体的に改善克服するための学習

身体の動き・身体作り・コミュニケーションに関することなど個々の生徒に応じて取り組みます。

放課後活動

○分教室単独の部活動に取り組みます。（卓球、太鼓練習）

○生徒会活動（福島ひまわり里親プロジェクト、のぞみ福祉作業所との交流など）

※将来の自立や進路におけた学習に取り組んでいます。

現場実習、職場・施設見学、進路学習などに計画的に取り組んでいます。

6. 卒業後の進路について

邇摩分教室卒業生の進路状況

年度	卒業生	進学	一般就労	福祉就労	その他
R元	4	1	0	3	0
R2	1	0	1	0	0
R3	2	0	1	0	1

7. 交流活動

邇摩高校と

- 日常的な交流
- 学校行事
 - 学園祭
 - 邇摩高フェア
- 交流及び共同学習
 - 1年生各クラス

本校と

- is you フェスタ(作品展示で参加)

地域と

- 日常的な販売を通して地域と連携
- 地域の企業などでの現場実習
- 地域の資源を活用した作業学習
- 地元のイベントに参加
- ボランティア活動(地域貢献:清掃活動等)
- 地域スペースでの展示

